安全靴・作業靴の安全性と耐久性を保証する

JIS規格とJSAA規格

先芯の入った安全靴・作業靴には、

「**JIS**（日本工業規格）」と「**JSAA**（公益社団法人日本保安用品協会）」が定める

2つの規格があります。

それぞれ安全性と耐久性を測る試験をし、

JIS合格品を［安全靴］、JSAA認定品を［プロテクティブスニーカー］と呼んでいます。

JIS合格品とJSAA認定品との大きな違いは使用できる**素材**と**耐久性**です。

JIS合格品※は甲被が革製または総ゴム製（安全長靴など）に限られ、

人工皮革製が多いJSAA認定品と比べ甲被の耐久性も高く、

はく離抵抗の試験においても人工皮革製のJSAA認定品より

高い耐久性が求められます。 ※JIS T8101の場合

【JIS】と【JSAA】の主な違い

	認定方法	甲被素材	特長
JIS 合格品 ※JIS T8101の場合	①定められた材料を使用する事 ②JIS認可工場で製造する事 ③完成品性能をクリアする事	**革製**が主流 甲被の素材は革製の他、長靴等には総ゴム製も認められている。革の厚さにも基準があり、耐久性も優秀。	JSAAと比べ素材の耐久性、表底のはく離抵抗などより厳しい基準をクリアしている。
JSAA 認定品	①定められた材料を使用する事 ②完成品性能をクリアする事	**人工皮革製**が主流 人工皮革の他、革製とビニルレザークロス製が認められてるが、多くのJSAA認定品は人工皮革製。	JISと比べ耐久性は劣るが人工皮革製の為デザイン性が高く軽量でフットワークが良い。

JIS

日本工業規格

JISとは我が国の工業標準化の促進を目的とする工業標準化法に基づき制定される国家規格です。耐圧迫性、耐衝撃性、表底のはく離抵抗の安全規定が定められています。JIS規格の定める安全性をクリアした靴を［安全靴］と呼びます。JIS規格には主につま先の保護を備えた［JIS T8101 安全靴］と静電気帯電防止性能を備えた［JIS T8103 静電気帯電防止靴］があります。

JIS規格T8101安全靴の基本性能試験

試験条件により、重作業用(H種)、普通作業用(S種)、軽作業用(L種)がある

- 先芯の耐衝撃性能
- 先芯の耐圧迫性能
- 表底はく離抵抗

＋

付加的性能

- 甲プロテクタの耐衝撃性
- かかと部の衝撃エネルギー吸収性
- 耐踏抜き性
- 耐滑性

JIS T8101（安全靴）

「主として着用者のつま先を先芯によって防護し、滑り止めを備える靴」と定義されており、規定の材料を使用しJIS認可工場で製造した靴で下記の試験にクリアした靴。

JIS T8103（静電気帯電防止靴）

人体への静電気帯電のために起こる爆発、火災のような事故及び災害、ならびに製品の汚れなど生産への悪影響を防止するために、工場などで働く作業者が使用する靴についての規格です。JIS T8103はクリアする電気抵抗値により［一般静電靴］、［特種静電靴］、［導電靴］があります。

JSAA

プロテクティブスニーカー規格

プロテクティブ スニーカー

プロテクティブスニーカー規格

型式認定合格品

つま先に金属や硬質樹脂先芯を装着し、（公社）日本保安用品協会が定めた安全性や耐久性の認定基準を満たしているスニーカータイプの安全作業靴をJSAA認定とし品質を保証しています。

JSAA認定プロテクティブスニーカーの性能試験

試験条件により、普通作業用(A種)、軽作業用(B種)がある

- 先芯の耐衝撃性能
- 先芯の耐圧迫性能
- 表底はく離抵抗

＋

付加的性能

- かかと部の衝撃エネルギー吸収性
- 耐踏抜き性
- 耐滑性
- 帯電防止性能

プロテクティブスニーカー

プロテクティブスニーカーの基本性能として「耐衝撃性」、「耐圧迫性」、「表底のはく離抵抗性能」の3つの安全性能項目にJIS規格値に準じた基準値を設けるとともに、さらに付加的性能として「かかと部の衝撃エネルギー吸収性」、「耐踏抜き性」、「耐滑性」、「帯電防止性能」があります。

JIS規格とJSAA規格の比較

JIS規格とJSAA規格の比較(抜粋)

規格	JIS規格T8101安全靴	JSAA認定プロテクティブスニーカー
マーク	JIS	型式認定合格 認 (公財)日本保安用品協会 認定番号：0000 プロテクティブ スニーカー プロテクティブスニーカー規格 型式認定合格品
製品での見分け方	JIS合格品は中敷(インソール)と靴底で確認することができます。 ●インソールにJISマーク及びJIS認定番号などを表示 【一例】 抗菌・防臭 MIDORI ADVANCED FOOTWEAR 革製 SEFP CE0208001 SK 安全靴 先芯性能を表示 付加的性能を表示 E かかと部の衝撃エネルギー性 F 耐滑性 M 甲プロテクタの耐衝撃性 P 耐踏抜き性 ●靴底にJISマークを表示	JSAA認定品はベロ裏で確認する事ができます。 ●ベロ裏にJSAA規格で定める性能を表示 JSAA A種 衝撃吸収 耐滑性 静電 耐踏抜性 性能ピクト一覧 安全区分:A種、B種性能表示項目 クッション性 衝撃吸収 耐踏抜性 耐踏抜 耐滑性 耐滑 静電気除去 静電 ※絵のタイプと文字のタイプどちらかを使用しています。
本カタログでの見分け方(一例) ※JIS はT8101の場合 ※各製品の詳細仕様の規格欄に記載	JIS T8101 革製 S種 E･F合格 甲被の素材：革製 総ゴム製 等級：H種 重作業 S種 普通作業 L種 軽作業 付加的性能：E かかと部の衝撃エネルギー性 F 耐滑性 M 甲プロテクタの耐衝撃性 P 耐踏抜き性	JSAA認定 A種プロテクティブスニーカー 等級：A種 普通作業 B種 軽作業 ※JSAA認定品は規格名として付加的性能の記載がありません。本カタログではP5のアイコンを使用し付加的性能を表示しています。

JISとJSAAの基本性能比較(抜粋)

規格		JIS規格T8101安全靴			JSAA認定プロテクティブスニーカー	
等級		H種 重作業用	S種 普通作業用	L種 軽作業用	A種 普通作業用	B種 軽作業用
耐衝撃性能	衝撃エネルギー(J)	100	70	30	70	30
	ストライカ質量(kg)	20±0.2			20±0.2	
	落下高さ(cm)	51	36	15	36	15
	中底と先芯のすき間	※「試験時の中底と先芯のすきま」を参照ください			※「試験時の中底と先芯のすきま」を参照ください	
耐圧迫性能 (kN)		15±0.1	10±0.1	4.5±0.04	10±0.1	4.5±0.04
表底はく離抵抗 (N) ※革製のみ		300以上	300以上	250以上	300以上(革製) 200以上(人工皮革・ビニルレザークロス製)	250以上(革製) 150以上(人工皮革・ビニルレザークロス製)
漏れ防止性能 ※総ゴム製のみ		気泡が連続して出てはならない			――	
甲被による種類		●革製 ●総ゴム製(耐油性ゴム・非耐油性ゴム)			●革製 ●人工皮革製 ●ビニルレザークロス製	

JISとJSAAの基本性能比較／試験時の中底と先芯のすきま

サイズ（足長）	JIS規格／すきま（mm）	JSAA規格／すきま（mm）
23.0以下	12.5以上	12.5以上
23.5～24.5	13.0以上	13.0以上
25～25.5	13.5以上	13.5以上
26～27	14.0以上	14.0以上
27.5～28.5	14.5以上	14.5以上
29以上	15.0以上	15.0以上

付加的性能［JIS T8101とJSAA］（抜粋）

項目	JIS規格／記号	JIS規格／性能	JSAA規格／マーク	JSAA規格／性能 ※マークは商品に表示
甲プロテクタの耐衝撃性 （100±2Jの衝撃エネルギーを加えた試験）	M	衝撃時の最低の高さ：25mm以上	――	――――
かかと部の 衝撃エネルギー吸収性	E	吸収エネルギー:20J以上	衝撃吸収	吸収エネルギー:20J以上
耐踏抜き性	P	くぎ貫通時の力:1,100N以上	耐踏抜性	くぎ貫通時の力:1,100N以上
耐滑性	F	動摩擦係数:0.20以上	耐滑性	動摩擦係数:0.20以上

帯電防止性能［JIS T8103とJSAA］（抜粋）

規格	JIS規格 T8103 （下記3つの区分より定められています）				JSAA規格 プロテクティブスニーカー ※マークは商品に表示		
帯電防止性能による区分	電気抵抗（R）※靴1個当たりの電気抵抗				電気抵抗（R）※靴1個当たりの電気抵抗		
	種別	JIS規格／記号	測定温度 23±2℃	測定温度 0^{+2}_{0}℃	JSAA規格／マーク	測定温度 23±2℃	測定温度 0^{+2}_{0}℃
静電靴	特種	EDX	$1.0\times10^{5}\leqq R\leqq1.0\times10^{7}$（Ω）	$1.0\times10^{5}\leqq R\leqq1.0\times10^{8}$（Ω）	静電	$1.0\times10^{5}\leqq R\leqq1.0\times10^{8}$（Ω）	――――
	一般	ED	$1.0\times10^{5}\leqq R\leqq1.0\times10^{8}$（Ω）	$1.0\times10^{5}\leqq R\leqq1.0\times10^{9}$（Ω）			
導電靴	―	EC	$R<1.0\times10^{5}$（Ω）	$R<1.0\times10^{5}$（Ω）	――	――――	

防護性能、甲被材料、表底材料による区分	先芯	JIS規格／記号	甲被材料	表底材料	
安全靴	あり	P	革・耐油性ゴム・非耐油性ゴム	耐油性ゴム・発泡ポリウレタン・上記の複合底	――――
保護靴	あり	O	革・ゴム・プラスチック・ビニルレザー・人工皮革・布又は合成樹脂引布	耐油性ゴム・発泡ポリウレタン・プラスチック・発泡プラスチック	――――
作業靴	なし	W	革・ゴム・プラスチック・ビニルレザー・人工皮革・布又は合成樹脂引布	耐油性ゴム・発泡ポリウレタン・プラスチック・発泡プラスチック	――――

環境区分	JIS規格／記号	測定温度 23±2℃	
1	C1	相対湿度：12±3%	――――
2	C2	相対湿度：25±3%	――――
3	C3	相対湿度：50±5%	――――